

紫 筍

第 31 号



紺野嘉夫学校長

体育祭入場行進F組

昭和63. 9. 20

都立文京高等学校同窓会会誌

1988年12月10日刊

目次

表紙写真(昭和63・9・20) 体育祭入場……表1
 目次・奨学金申込者……………表2

医学の道で大活躍 東大第四内科教授
 東大病院分院長

2期D組 尾形 悦郎さん……………1頁3

野球は情熱だ……………32期I組平岩 了……………4

人間らしさを求めて……………24期C組金子晴子……………5

紫雲祭・スポーツ大会(サッカー・バレー・

棒倒し)(リレー・二人三脚……………6

集団演技・棒引き)……………7

校舎東側からの見取図・

校舎位置平面図……………8頁9

卒業生人数・ナンバ―校と現在校名……………10

幹事会、お知らせ、級・同期会開催を……………11

教職員異動・市三会の歩み……………12頁13

進学状況・就職状況……………14頁15

同窓会協賛者名刺……………16頁表3

会計報告・後記……………表4

奨学金申込者

(一口 五千元)
 送金受領順です。

一〇口 秋谷栄之助(四A)

四口 右高 研至(5F)

二口 矢島 健治(一A)

遠藤 武作(一C)

橋本 嘉典(二E)

石塚 嘉典(16A)

加登 進也(21F)

椎名 健二(5E)

西村 勇(5F)

村上 圭(9F)

松原 紀之(11A)

鈴木喜与光(四C)

容貝きよ子(7A)

宮田 淳(8D)

佐藤 幸雄(三E)

村上 清(18B)

山下 雅夫(二B)

阿部 喜一(二A)

金津 俊治(一A)

木村 守(三A)

阿部 浩一(二D)

高橋 昌平(二AB)

武田 正人(21F)

櫻井 清(7D)

田中 和夫(二B)

花形 弘道(二A)

殿塚 猷一(7D)

永瀬 健一(39A)

海老原章一(21C)

長谷川節子(5C)

鈴木 重光(8A)

佐藤 伍朗(9F)

名嘉地六郎(9D)

竹中 朗(26I)

羽田 勝明(33C)

仲田 達男(三D)

川尻 政紀(12E)

高橋 一郎(31E)

小田部 司(21E)

菅家 達雄(四C)

長岡 康子(27H)

鈴木 勲(一A)

中村 純子(26F)

竹田 晶(三D)

滝谷敬一郎(12D)

関根 秀次(9C)

山形 尚衛(四B)

羽場 弘明(27C)

中島 啓之(12C)

高木 詠美(39G)

鶴田 寛(35I)

永山 和彦(21D)

三田 康久(四A)

白田恵美子(23A)

榎本 倣久(9C)

高橋 俊平(4D)

矢島 誠(22D)

岡田 啓時(8E)

中村 一恵(20F)

高橋 聖治(20A)

本田 典徳(二A)

伊奈 健(20H)

小垣 雅俊(26I)

齊藤美代子(18A)

関口 一(5E)

他に一口

毎年卒業生の中から、文京生として奨学にふさわしい成果を残された方に贈られています。63年は一万円の図書券を16名の方にさし上げました。今後の活躍を期待いたします。

(基金の利息相当額を中心に行っています。)

医学の道で大活躍

東大第四内科教授
東大病院分院長

2期D組 尾形悦郎さん

プロフィール

昭和二十五年三月（新制2期）卒業後、東大教育学部理科II類から医学部に進み、内科医の道を進学。一方基礎生物学の道も捨てきれず、大学院へ進学し、三十七年卒業後、三十八年から、渡米、テネシ州バンタヒット大学内科講師、ウイットンシン大学農学部研究員、さらにフィラデルフィアのペンシルバニア大学医学部研究員を経て、四十一年帰国、気がついてみたら、臨床医と教育研究者の二足のわらじをはいていて現在に至る。

昭和四十八年筑波大学創設に参加、五十四年から、東京大学医学部第四内科教授となる。

Q、当時の文京について、豊島中学と文京高校の両方の時期であったとお伺いしましたが、A、実は、僕はちよつとほかの人と事情が違っていて、小学校5年の頃から、結核にかかりまして、小学校5年と6年のときには学校に行かなかつたんです。豊島中学（文京の前身）にも、試験だけ受けて入ったんです。それでも、病気がちで、学校にも、あまり行けなかつたんですが、すぐに疎開になりまして、茨城の下妻中学へ行って、そこで稲刈りなどをやっていました。戦争末期でしたの



で、病気だからといって、休ませてもらえなかつたんです。そして、終戦になって、東京に帰ってきて、また、学校に入れてもらいました。しかし、学校が焼けてしまつて、やるこがなかつたので、荒川の河原で、一生懸命、畑をつくつたりといったことばかりやっていた記憶があります。

そうこうするうちに、豊島中学のはずれにあつた焼跡のコンクリートの校舎に机や椅子を並べて、ぼつぼつ勉強を始めました。それから、関口台町の小学校を借りて勉強するようになり、正式に文京高校になつた頃には、元町小学校を借りて勉強していました。

Q、勉強も、ままならない時代だつたんですね。
A、ええ、もうですから、僕は、小学校の二年間、勉強していないうえ中学に入つてからも、一年間勉強していない。疎開から帰つてからも一年間、また勉強をしていないので三、四年、ほとんど、まともな教育を受けて

いながつたのですが、運の良いことに終戦の頃だつたので、勉強しなくても、ちゃんと学校は、入れてくれましたし、疎開から帰つてきたら、また入れてくれました。しかし、僕も、先生商売をやっていますので、わかるのですが、生涯で本当に教育されたなあと感じるのも、この頃ですね。

Q、とおっしゃいますと？

A、なぜ、そんな感じがするかというと、当時、休学してしまつて、休学といつても、家で寝ているだけでなく、本なども読んでいたのですが、本で読んでいたことと、学校で教わるのとで、非常に差があつて、えらい新鮮な驚きを感じたことがあります。

Q、学校と本の違いといいますと？

A、大学であれば、学生は、勉強をして、あ

る一定のレベルで試験を受けて、通った人が次のレベルの勉強をすればよいので、先生がいなくても、だいたい済むところがあります。ところが、中学というのは小学校を卒業して自分が将来、何になるのか、例えば、魚屋になるとか、公務員になるとか、学者になるとか、何になるか目的を、まだ持たない人が集まっているところなのです。そういう様々な人たちを教えていくわけですよ。つまり、先生は、まだモチベーションをもたない人を引張っていくわけです。そういう意味で、すごく引張られたと思います。私なんて、少なくとも、勉強商売につくなんて思いもしませんでした。

大学も同じなんでしょうが、立派な先生につくと、その先生の専門をなんとなくやりたくなるもので、そういうことでも、豊島中学と文京高校の時代には、本当に素晴らしい、もったいないくらいに先生が、たくさんいましたね。

例えば、英語に、石川先生という先生がいます。その先生に英語を教わって英語を好きになって、やる気になったし、数学には、竹村先生という先生がいます。先生のことを批評したらよくないけれども、秀才とか天才とかいうようには見えない先生でしたが、

旧制中学の頃に、新制の高校の一年で使うような解析幾何をやってね。それも大変に熱心で、それを勉強したおかげで、確実に、よその高校生より一二年進んでいて、東大に入って教養学部でも困りませんでしたね。

だから僕が大学に入れたなんていうのは、英語と数学を確実にやっていたのもあったんでしょう。それも、別に受験勉強などで教わったのではなく、そういう名物的というよいうな、モチベーションを与える先生がいたということもあつたんだと思います。そういう先生によって将来が変わることがある時代だったんです。今は、あまりそういうことが少ないでしょうけれど、本当に教育されたと感じます。昔のノスタルジアということではなく、ちょっとクールに考えても、豊島中学で休学して出席日数が足らなくて二年に上がれるかどうかというときに疎開で下妻中学に行くと、とたんに成績上位でしたから豊島中学の教育レベルは、高かったんだと思います。それで、だいぶ、人生に自信がついたと思います。

そういうわけで、今でも感謝しています。それに、気がついてみたら、なんとなく大学に受かるレベルに到達していたという感じであつたのです。

そして、まわりの友達が、すごくできる人ばかりで、学力でも、人間的にも、最高の連中が集まっていたんだと思います。そんなわけで、一緒につきあっていた友達が抜群にできたので、そういう連中に追いつくのに随分苦勞しました。

Q、ところで、クラブ活動は、どうでしたか。
A、僕は、昔からスポーツが好きで、小学校は、水泳をしていました。まあ、それで体をこわしたんだと思いますが、豊島中学では、疎開から帰ってきて、運動などは、してはならなかったのですが、親にかくれて野球部に入りました。

Q、かくれてですか？

A、ええ、それで野球やっているうちに治っちゃつたんです。

Q、そういうこともあるのですか？

A、あるんですね、当時は効く薬がなかったのですが、治つたんです。

最初は、同級生にさそわれて、始めて、ピッチャーやったり、サードをやったり、センターをやったりで、三年の最後までやりました。

その頃は、教室を小学校から借りていた頃だったので、焼け跡のグラウンドへ行って随分、一生懸命、野球をやりました。

野球については、東大に入ってからでも教養部と医学部の野球部をやっていましたし、若いうちは、スポーツをやっておくといいたすね。僕なんて高校時代に野球をやっていたため、ずいぶん、徳をしました。医者の中では圧倒的に野球が上手なほうですから。

今と違って、野球が上手だとスターになれましたから。医師会野球では、だいぶ、トロフィー等をとりました。

Q、最近も野球をなさるのですか？

A、最近人は集まらない、グラウンドがないなどで、もっぱら山歩き・スキーなどの別のスポーツを楽しむことが多いですね。なかなか機会がありませんが、機会があれば、野球をやりたいと思っています。

Q、さて、豊島中学が文京高校となって御卒業なさってからは東大へ？

A、文京高校の新制2期の卒業です。東大も文京高校から7、10人は入っていたかもしれないですね。まわりがよくできて、みんなが東大受けるとか一橋を受けるとか言っていたので、なんとなく受けたという感じですね。

だいたいみんな入りました。

Q、医学の道を志すようになった理由は？

A、やっぱり、自分が病気にかかったからだと思います。最初は、生物学へ行こうと思っ

たんですが、親から、「生物学じゃ食えなくなるぞ」と。それで、医学か生物学か迷ったのですが、いまだに生物学も好きですし、アメリカへ留学したときには、思いきってそちらの方も研究してみました。

Q、現在のお仕事について。内科を担当なさっているということですね。

A、ええ、そうです。

Q、大変、お忙しいと、お伺いしましたが。

A、ええ、残念ながら忙しいです。年末までスケジュールが、全部決まっています。

Q、どういった感じのお仕事ですか？

A、東大の内科の講座が4つあるんです。そのうちの1つを主体にやっています。そして今、分院の院長もやっています。

Q、第四内科と、お伺いしましたが、どのように、4つになっているのですか？

A、四つの内科が、それぞれ、似ている内容です。

Q、医学のお仕事をなさっていて、現代人の生活等で、心配なさっているようなことは？

A、全て心配だといえれば心配ですが、しかし終戦前後に比べると、現在は、温室にいるようなものだと思います。あの当時は、食べるものもなく、しょっちゅう空腹があって、疎開に行ったり、買い出しに行ったり、それで

も別に、異常でなかったのでしたから、どんな活発にすればいいんじゃないですか。日本人は、長生きする民族ですから。今、平均寿命80年の時代ですから、普通に生活していれば……。あまり注射したり薬を余計に飲んだりせずに、大人の常識の健康的な生活を送っていれば、日本人は長生きすると思います。

Q、突然死ということ聞きますが？

A、しかし、統計からすると、わずかなことになるわけです。したがって、飲酒や喫煙もやらないことです。

Q、御自身は、たばこは？

A、たばこは、吸いません。

Q、さて、そろそろ最後ですが、A、要するに、僕の場合は、近所の小学校を出て、近所の中学・高校を出て、近所の大学を出て、近所で仕事をしているという具合ですね。病気のとき通ったのもこの分院だったんです。

今回のインタビューは、東京大学医学部附属病院分院院長室で、約一時間半にわたってお話を伺いました。今日は、御協力有難うございました。尾形さん益々のご活躍をお祈りいたします。
(62年I組横堀幸男)

野球は情熱だ

32期Ⅰ（昭55卒） 平 岩 了

「カキーン」金属音を残して打球はショットからファーストのミットへ、八丈高校野球部の夏は終わった。東京大会ベスト16進出である。日大一高に13対4、七回コールド負けである。スコア的には大敗であるが「よくここまで一生懸命がんばってくれた。ナイス

朝日記事

63年夏の大会（都立八丈高校監督として）

第一回戦 11—1 錦城学園
第二回戦 6—3 麻布高校
第三回戦 7—5 都立大島高校
第四回戦 4—13 日大一高
猛追及ばず、日大一から八丈が4点。4回戦みやげに帰島。



「鳥の子供たちでも、十分戦えるんです。第二シードを相手によくやりました。」と日大一に敗れた都八丈の平岩了監督は胸を張った。

（朝日新聞記事から）

ファイト、ナイスプレー」心の中で生徒に拍手を送っていた。

四年前、大学を卒業してすぐに伊豆七島の八丈島にある都立八丈高校へ体育教師として希望と不安を胸に赴任、「必ず八丈高校野球部を強くするぞ」と心に誓ったものの理想と現実のギャップに愕然。部員の少なさ、一年間を通して練習試合がまったくできない環境、自分自身の慣れない島での暮らしなど、たいへん悩んだ一年目、夏休み練習が終わった後、グラウンド整備をさぼって部屋でジュースを飲んでる主将に「主将のお前がやらないで誰がやるんだ。お前みたいのが主将をやっているから勝てないんだ。」と感情のおもむくままに言葉浴びせてしまった。すると売り言葉に買い言葉「お前みたいのが監督やっているから勝てないんだ。」と言いつ返し全身の血が頭にカーツ、一事が万事こんな調子、監督と主将のきずながこんなものだから、勝てるなんて夢のまた夢、おかげで赴任してから丸三年間すべて一回戦コールド負け。三年間一回もまともに九回まで試合をさせてもらえない始末である。いくら練習してもどうせ勝てないんだからという負け犬根性が生徒の心にしみついてしまった。なんとかこの負け犬根性をなくさなければ、それにはどうしたらよい

か簡単である、勝てばいいのだ、勝つ？人数はいない、練習試合はできない、そんなチームを？まず指導者のそういう意識から改革しなければならなかったのであった。

自分の高校時代を思い返してみよう。部員十一人という時もあった。八丈高校と同じようなもんだ。では何が違うか？指導者の情熱だ。その頃文京高校野球部にはOBである土屋さんという野球にたいへん情熱を注いでくれた方がいた。今、同じ家庭をもつ身になって考えると土屋さんには休日があつたくなかつたのである。土・日曜・祭日は必ずグラウンドに足を運んで面倒をみてくれた。

それに比べれば今の自分なんて、なんて小さいんだろうと思ひ知らされ自分が恥しくなつた。それからである本当に野球を勉強し愛し情熱を注ぎ始めたのは。お陰様で四年目にして運にも恵まれベスト16！自分の高校時代の成績と肩を並べられるようになった。

今年の四月に東京へ上陸、日比谷高校と同じく野球部を指導させていただいている。これから何年かかかるか見当もつかないが夢である甲子園を必ず現実のものにしたい。それにはこれから越えなければならぬ数多くのハードルがあるが、文京高校、八丈高校で学んだ情熱を心の支えにがんばっていききたい。

「人間らしさ」を求めて

24期C(昭47年卒) 金子 晴子

「日本能力開発研究所」―これが、今、私が勤めている職場の名称です。

何をするとおもうかと、お思いになる方も多いでしょう。私はいつも、「人間らしさを捜すところだ」と、答えることにしています。

私たちはうすうすは、自分の中にもつと素晴らしい能力があるだろうと感じています。火事場の馬鹿力―生きるか死ぬかの瀬戸際、必死になれば、かよいよお嬢さんだつてタンスぐらいかついで逃げ出すものです。それ位の力は、誰の中になつて本当はあります。

それをなぜ、いい体格の若者が、「疲れた、疲れた」なんて思い込んでしまうのでしょうか。

「イザとなればオレだつて…」と、内心秘かに自負しても、その「イザ」がいつまでもこないまま、ただただ毎日の生活に疲れてはて



年老いでいくだけではないのでしょ
うか?

体はガチガチ硬ばつて、緊張症

で呼吸は浅く、背中は猫背で腰くだけ、歩く姿勢は類人猿、食べてる物はロクデモナイ・ジュースにコーラに甘い物、スナック菓子におせんべい、ラーメン、うどんにスパゲッティ：こんな生活を続けていたら、意欲ややる気も湧くはずないし、柔軟な思考力や積極的な行動も出てくるわけがありません。いや、それどころか、簡単に病気を作ってしまいます。人間を科学的に眺める方法を、私は研究所の安藤一男先生から教わりました。食生活や呼吸や姿勢、そしてイメージや考え方がどれほど大切であるか、「できないのではない、やらないだけだ」ということを……

この素晴らしい師に出会つてから8年、少しずつ、自分の中に確かな方向と自信が芽生えてきました。

それまでは、はたから見ればどんなに恵まれた環境にいようと―おとなしくて賢い良い子で、短大の英文科を出て、一流企業に就職し、事務から秘書に抜きてきされ、結婚が決まっても、決して持つことのできなかつた、自信と満足感です。

「これでいいのだろうか」「何て私はダメな人間だろう」「なんとかしなければ……不安とあせりと絶望が、心の底にオリのようになつていた毎日……常識だから、習慣だ

から、人がするから……そんな考えにどうしてもなじめないのに、どうすることもできない私でした。

高校時代―懐しい思い出に満ちた日々、おっとりとした暖かなクラスメート、遠くから黙つて見守つていてくれた担任の横山先生と太田先生、校舎も、校庭も、入口の銀杏の木も、いまでもありありと目の前に浮かんで来ます。

その当時、本当にめだたないだけが取りえの、人と口もきけないおとなしい女の子だった私なのに、今こうして、個性的な生き方をしていると注目されることは、とてもびっくりするほど嬉しい事です。

人前で話もできなかつた私が、今、多勢の人前で平気で話すこともできます。

そうです、人は誰でも変われるのです！不可能を可能にし、ダメをダメでなくし、

消極的な人にも意欲ややる気を湧かせ、病弱な人がうそのように強健に変わり、感覚や感情や創造力が豊かになる……こんな素晴らしい力(無意識の力)は、誰の中にもあるのです。もし興味をお持ちの方は、ぜひ

『不可能を可能にする無意識の魔力』

安藤一男著・三笠書房¥一〇〇〇をお読みになって下さい。



3 E 山田晴彦君写す
チャンス
(スポーツ大会 63・6)



ヤッター！
(スポーツ大会 63・6)
3 E 押田昭智君写す



奮戦
功労者
お立台へ



リレー
体育祭
63・9・20

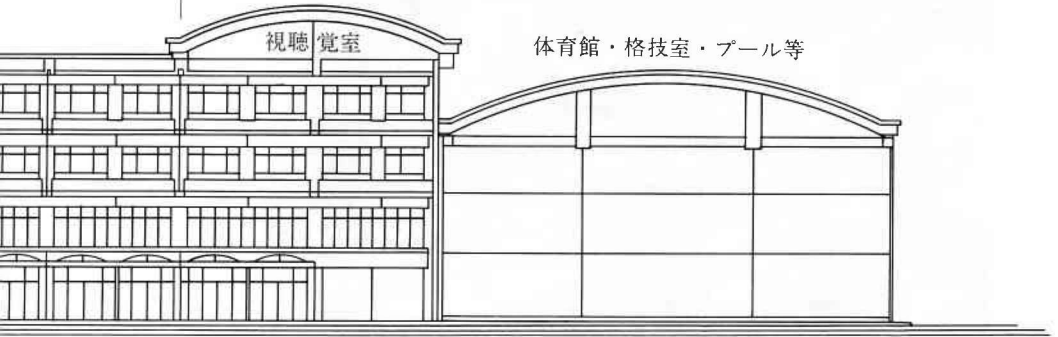
たのしい体育祭

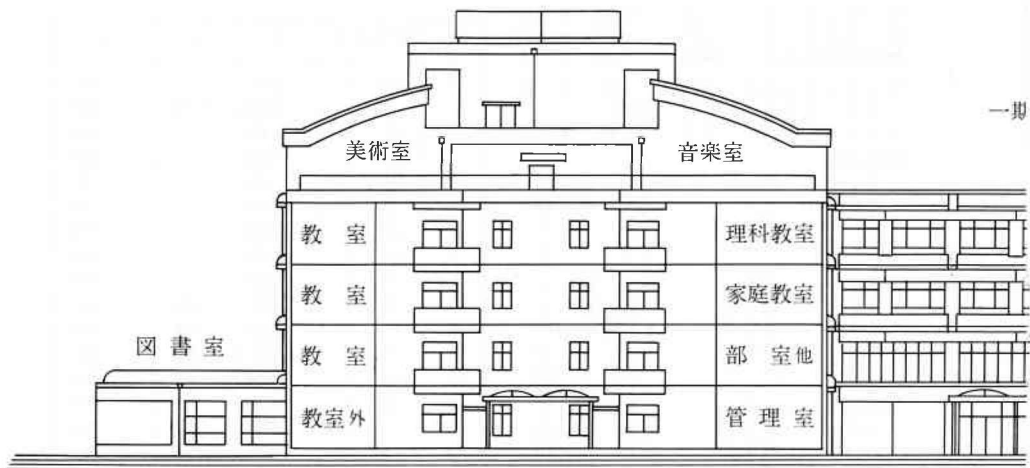


ファイト
ゴール阻止

校舎東面からの見取図

工事 (88~90年) 二期工事 (90~92年)





ナンバー校と現在校名

第一東京市立中 九段 昭13. 4. 14
 第二東京市立中 上野 " 13. 4. 14
 第三東京市立中 文京 " 15. 4. 5
 第1東京市立高女 深川 " 13. 4. 11
 (第2, 第3市立高女) (不明)
 第4東京市立高女 竹台 " 15. 4. 5

東京府立

第1中 日比谷 明11. 9. 26
 第2中 立川 " 33. 5. 31
 第3中 両国 " 34. 4. 1
 第4中 戸山 " 34. 4. 1
 第5中 小石川 大7. 10. 8
 第6中 新宿 " 10. 10. 4
 第7中 墨田川 " 10. 10. 4
 第8中 小山台 " 12. 1. 20
 第9中 北園 昭3. 1. 14
 第10中 西 " 12. 1. 22
 第11中 江北 " 13. 1. 22
 第12中 千歳 " 14. 2. 3
 第13中 豊多摩 " 15. 1. 12
 第14中 石神井 " 15. 1. 12
 第15中 青山 " 15. 1. 18
 第16中 江戸川 " 15. 1. 12
 第17中 葛飾野 " 15. 1. 12
 第18中 (西) " 15. 1. 18
 (S 16. 4. 1 玉泉中,
 S 21. 3. 31 10中と統合)
 第19中 国立 " 15. 4. 3
 第20中 大泉 " 16. 2. 3
 第21中 武蔵丘 " 16. 1. 27
 第22中 城南 " 17. .
 第23中 大森 " 18. 4. 1
 第24中 (北園) " 18. 4. 1
 (S 21. 3. 31 統合)

東京府立

第1高女 白鷗 明21. 12. 28
 第2高女 竹早 " 33. 2. .
 第3高女 駒場 " 34. 12. 12
 第4高女 南多摩 " 41. 5. 1
 第5高女 富士 大8. 12. 27
 第6高女 三田 " 12. 1. 15
 第7高女 小松川 昭2. 7. 15
 第8高女 八潮 " 2. 6. 8
 第9高女 多摩 " 8. 4. 1
 第10高女 豊島 " 11. 1. 14
 第11高女 桜町 " 13. 1. 22
 第12高女 北野 " 14. 1. 26
 第13高女 武蔵 " 15. 1. 12
 第14高女 城北 " 15. 1. 12
 第15高女 神代 " 15. 1. 12
 第16高女 南葛飾 " 15. 1. 12
 第17高女 (八潮) " 15. 1. .
 (S 17 城南高女,
 S 18. 7. 1 第8高女と統合)
 第18高女 井草 " 16. 1. 27
 第19高女 千歳丘 " 17. 2. 4
 第20高女 赤城台 " 17. 2. 4
 (不明)
 第22高女 (豊島) " 18. 4. 1
 (S 21. 4. 1 統合)

卒業生数

| 期 | 昭和年月 | 男 | 女 | 計 |
|----|-------|-------|--------|--------|
| 一 | 20. 3 | 217 | | 217 |
| 二 | | 259 | (4年卒業) | 259 |
| 三 | 21. 5 | 66 | | 66 |
| 三 | 22. 3 | 133 | | 133 |
| 四 | 23. 3 | 60 | | 60 |
| 1 | 24. 3 | 55 | | 55 |
| 2 | 25. 3 | 170 | | 170 |
| 3 | 26. 3 | 245 | | 245 |
| 4 | 27. 3 | 299 | | 299 |
| 5 | 28. 3 | 237 | 68 | 305 |
| 6 | 29. 3 | 221 | 94 | 315 |
| 7 | 30. 3 | 221 | 85 | 306 |
| 8 | 31. 3 | 214 | 92 | 306 |
| 9 | 32. 3 | 209 | 95 | 304 |
| 10 | 33. 3 | 206 | 92 | 298 |
| 11 | 34. 3 | 226 | 93 | 319 |
| 12 | 35. 3 | 215 | 92 | 307 |
| 13 | 36. 3 | 214 | 104 | 318 |
| 14 | 37. 3 | 237 | 121 | 358 |
| 15 | 38. 3 | 257 | 141 | 398 |
| 16 | 39. 3 | 253 | 146 | 399 |
| 17 | 40. 3 | 267 | 158 | 425 |
| 18 | 41. 3 | 304 | 212 | 516 |
| 19 | 42. 3 | 282 | 183 | 465 |
| 20 | 43. 3 | 273 | 181 | 464 |
| 21 | 44. 3 | 274 | 178 | 452 |
| 22 | 45. 3 | 263 | 175 | 438 |
| 23 | 46. 3 | 259 | 173 | 432 |
| 24 | 47. 3 | 242 | 171 | 413 |
| 25 | 48. 3 | 212 | 214 | 426 |
| 26 | 49. 3 | 203 | 213 | 416 |
| 27 | 50. 3 | 183 | 225 | 408 |
| 28 | 51. 3 | 194 | 214 | 408 |
| 29 | 52. 3 | 203 | 203 | 406 |
| 30 | 53. 3 | 186 | 221 | 407 |
| 31 | 54. 3 | 194 | 211 | 405 |
| 32 | 55. 3 | 195 | 206 | 401 |
| 33 | 56. 3 | 194 | 212 | 406 |
| 34 | 57. 3 | 185 | 217 | 402 |
| 35 | 58. 3 | 202 | 219 | 421 |
| 36 | 59. 3 | 223 | 232 | 455 |
| 37 | 60. 3 | 177 | 218 | 395 |
| 38 | 61. 3 | 201 | 220 | 421 |
| 39 | 62. 3 | 237 | 242 | 479 |
| 40 | 63. 3 | 216 | 216 | 432 |
| 合 | 計 | 9,583 | 6,137 | 15,720 |

備考：回数欄漢数字は第三東京市立中学校
 " 算用数字は都立文京高等学校
 " 一期の中には4年修了で大学へ進学した者86名を含む。



同窓会幹事会

昭和63年度の幹事会が7月6日(木)18時から
母校校長室で行われた。(上部写真)

- 一、会長挨拶
 - 一、会計報告
 - 一、監査報告
 - 一、63年度予算承認
 - 一、自己紹介
 - 一、役員選出
- 軽くお寿司をたべながら、缶ジュースを飲み、交通費として各人に千円支出され、20時すぎにお開きとなった。

役員

| | |
|------|----------------|
| 会長 | 渡辺 剛彰 (20年卒 A) |
| 副会長 | 西岡 弘 (20) C) |
| | 高橋 光男 (27) A) |
| | 斉藤 智夫 (52) F) |
| 書記 | 渡部 曜 (46) H) |
| | 椿 光弘 (47) H) |
| 監査 | 横沢 靖夫 (25) C) |
| | 野中 滋 (41) C) |
| 会報部長 | 横堀 幸男 (62) I) |
| | 63 E・F・G・H |
| 名簿部長 | 永野 登 (63) I) |
| | 63 A・B・C・D・I |

お知らせ

—— 新聞広告協賛の件 ——

昭和63・10・11付毎日新聞朝刊の都
内地域版に母校紹介の記事が掲載さ
れました。これは広告通信社が企画
し、関係の方の協賛で出来た記事で
す。

母校でも、同窓会でも、企画した
社への依頼は一切しておりません。
振込先が同窓会宛でないこうした依
頼はいたしませんので、お含み下さ
い。

クラス会・同期会開催を

同封のクラス名簿で、住所不明者の多いク
ラスの方は、是非、連絡を取りあってクラス
会を開き、名簿を充足させて下さい。

同窓会では毎年10月で会報名簿を訂正し、
1月15日頃で名簿を訂正します。

その名簿によって、8月中に宛名書きをし、
会報を発送しているのが現状です。

昭和65年が創立50周年にあたります。

異動

退 職 再雇備先

若林 秀治 社会 (49) 63 南高校 嘱託
 成瀬 頼弘 数学 (42) 63 光が丘 嘱託
 西岡 弘 国語 (24) 63 22 63 27 文京高校嘱託

転 出

佐久間憲司 (51) 数学 小松川高校
 伊藤 孝治 (56) 国語 久米留西高校
 伊藤(野村)範子 (56) 英語 牛込商業高校
 為我井美恵子 (62) 国語 葛西南高校
 垣内 重徳 (57) 事務 足立区立第八中学
 安田 弘美 (62) 事務 新宿区立 落合第六小学校
 鈴木 誠一 (52) 用務 王子工業高校

転 入

橋本 幸子 産休から復帰
 新井 忠興 上越教育大から復帰
 野村 利明 数学 練馬高校 から
 王 慧 社会 大森高(定) から

同窓有志の集い
 市 三 会
 世話人 一期B 末 正昭
 一期B 一期E 原 本幸
 4 期 E 榎 三

市三会の歩み

世話人 一期B 末 正明

昭和49年発足の市三会は、今年で足かけ15年の歳月を歩んで来た。13名だった会員も、現在130名を数える組織となった。初回卒業の会員は還暦を迎える年齢になった。同窓有志の会として縦・横に広ったこの組織は、次第にいくつかの特色を定着させて来た。

- 1、創立以来欠かさず毎月13日を原則に開いて来た。(土・日は金に変更)
- 2、年2回以上の会報を発行し、例会に出席の少ない会員に情報提供を行う。
- 3、4月例会は、母校校長室で、学校の現状など伺い、歓談をまじえ母校との交流をはかって来た。
- 4、秋にはバス日帰り旅行をもよおし、史蹟名所・グルメめぐりなど行う。

- 5、中学校向けの「学校案内」も、市三会が発案し、3号まで同窓会が受持ち、以後は学校に協力して発行を続けている。市三会は地域の学習塾向けの発送と経費を分担する。
- 6、12月の例会は13日前後の日曜日に、忘年会形式で行う。
- 7、1月例会は、福引き付きの新年会を行い、交流を深める。
- 8、会員の慶事は、会席上自主申告で披露し、会に応分の寄付を、また御不幸時は連絡あり次第善処してきた。
- 9、会員の画家の方の協力による「ベーチエット病」ボランティア活動や、母校へ施設関係の寄贈などを行う。

公立高校の同窓有志の会「市三会」は転任して来られた先生方から、大変ユニークな、有意義な組織として賞賛を頂いている。学校でのセミナーも、医師、弁護士、画家、教授、実業家などバラエティに富み、また会員の高齢化に伴ない、「これからの健康づくり」、「相続と遺言」、「老後の趣味」、「万葉の歌人の心」などに人気が高い。

一日バス旅行も既に9回を重ねたが、最近の傾向として、子育ても終え、子離れた会



転退職者

伊藤先生 伊藤(野村)先生 為我井先生 佐久間先生
若林先生 成瀬先生 西岡先生

| | | |
|-------|----|-----------|
| 近藤 俊治 | 数学 | 南葛飾野高校 |
| 戸室 文子 | 英語 | 赤羽商業高校(定) |
| 菅原千恵子 | 事務 | 向丘高校 |
| 岩崎かつゑ | 事務 | 久留米養護学校 |
| 山田 英介 | 同務 | 志村高校 |



奥多摩 御岳神社 社殿横 昭和63. 10. 16

員御夫婦の睦まじい参加者が目立つ様になり、
グルメ嗜好のバス旅行も好評である。
世話人のなやみは、12期(35年卒)以降の
人の入会がないことです。
今回まで続いた理由には、サロンの雰囲気

の運営、同窓会の仲間としての暖かい友人愛
が形成されるように努力し、職業意識・商売
意識の話題を自然に避けた。

医療法人 池袋大久保病院
(内科・胃腸科)

院長
二期B 大久保 宏
〒171 豊島区西池袋1-43-5
Tel(医院)987-3785~7
(自)981-1623

**出光ガソリン・貸ビル
自動車販売整備**
(市三會会長)

飯田橋・神保町
一期B 末 正明
〒112 文京区後楽2-6-1
Tel(会)261-5111 (自)811-0755

勝山齒科医院

一期A 勝山 和夫
〒133 江戸川区北小岩7-6-4(自宅)
〒130 墨田区太平3-14-5(医院)
Tel(医院)623-6592(自)671-8100

弁 護 士

二期D 原田 策司
〒104 中央区銀座7-5-4 毛利ビル4階
Tel 571-1780(代)
〒145 大田区上池台3-30-1(自宅)

(株) 栗原製作所

(各種ディスプレイ企画製造)
一期B 栗原 正昭
〒111 台東区元浅草4-5-5
Tel 841-2515(代)

弁 護 士

一期A 渡辺 剛彰
〒113 文京区西片2-12-23
Tel(事)814-1984 (自)811-7704

弁 護 士

二期E 早川 律三郎
〒150 渋谷区神宮前2-30-5
原宿キャサテル 209号
早川律三郎法律事務所
Tel 475-0330

虎の門日比谷クリニック
(皮膚科、泌尿器科、形成外科)
健康扱い

一期C 山中 秀男
(自)〒152 目黒区目黒本町4-8-20
〒105 港区虎ノ門1-1-20
虎ノ門実業会館5階
Tel(医院)508-2508 (自)714-9518

豊玉整形外科医院

一期A 鈴木 勲
〒176 練馬区豊玉北5-30
TEL 991-8424

産 婦 人 科

三期E 小室 陽一
〒114 北区岸町1-12-22
Tel(医院)907-0303(自)907-0280

中村耳鼻咽喉科医院

一期C 中村 信成
〒281 千葉市幕張町6-288-3
Tel(医院)0472-73-7026
(自宅)0472-72-6625

三崎町医院

成人病相談
一期B 福山 正臣
〒101 千代田区三崎町2-21-1
TEL(医院)261-7446
(自)904-4844
社会福祉法人 全国ペーネット協会

静谷クリニック
(内科)

四期B 静谷 晴夫
〒170 豊島区西巢鴨4-6-2
Tel(医院)910-1136(自)910-1219

池谷製作所
(メガネ・レンズ製作)

一期D 池谷 利一
〒160 新宿区大久保2-13-16
Tel(会)209-8631 (自)209-8118

株式会社 八 洲

一期B 川上 光男
〒114 北区王子本町2-11-6
Tel(会)909-3211 (自)815-2839

東京都北区議会議員待遇者
医療法人赤羽病院理事長
王子税理士会顧問

税理士
四期E はいばら 富士雄
〒115 北区志茂1-17-13
TEL 901-8554

銀座菊地病院・救急病院
(内科・外科・整形外科・皮膚泌尿科)
(婦人科・人間ドック・検診)

院長・二期A 湖山 聖道
〒104 中央区銀座7-13-15
Tel(病院)541-1151
(自宅)465-6113

高松診療所

一期B 野久保 泰徳
〒190 立川市高松町2-2-14
Tel 0425-27-3541

| | | |
|---|---|---|
| <p>㈱チーム・フォー建築設計事務所</p> <p>19期E 南部 覚</p> <p>〒175 板橋区赤塚3-19-2 TEL (自宅) 930-8053 (会社) 401-5521</p> | <p>西武バスKK 経理部</p> <p>11期A 松原 紀之</p> <p>〒177 練馬区石神井町8-36-12 光ハイッ TEL (自宅) 996-5208 TEL (会社) 989-3032</p> | <p>㈱サトウケミカル(入浴剤製造)</p> <p>4期C 佐藤 佳男</p> <p>〒352 新座市野火止8-16-7 Tel (会社) 0484-81-2323 (自宅) 0484-74-8456</p> |
| <p>一級建築士</p> <p>19期I 加藤 友和</p> <p>〒115 北区赤羽2-56-10 加藤友和建築設計室 TEL. 903-4710 〒351 朝霞市朝志ヶ丘4-10-13-409 TEL. 0484-74-2085 (自宅)</p> | <p>下田特許事務所 弁理士</p> <p>17期E 大橋 邦彦</p> <p>〒171 豊島区長崎2-29-17 Tel (自宅) 957-1533 (事務所) 438-9181</p> | <p>医療法人 高徳会 高橋脳神経外科病院</p> <p>4期D 高橋 俊平</p> <p>〒215 川崎市麻生区千代が丘 8-23-15 (自宅) 〒206 稲城市平尾368 (病院) TEL 044-951-2083 (自宅) 0423-31-4505 (病院)</p> |
| <p>高砂熱学工業(株)企画室</p> <p>21期F 加登 進也</p> <p>〒336 浦和市根岸5-18-10-1313 TEL 自宅 0488-62-8290 会社 255-8213</p> | <p>税理士</p> <p>18期C 野中 滋</p> <p>〒170 豊島区駒込1-3-6-802 中根宏税理士事務所内 TEL. 945-8594 自宅 豊島区東池袋2-52-1 TEL. 982-6492</p> | <p>静谷歯科医院 (歯科一般)</p> <p>4期D 静谷 栄夫</p> <p>(午前) 〒170 豊島区駒込3-11-3 Tel 915-1108 (午後) 〒170 豊島区巢鴨3-8-15 Tel 915-0072</p> |
| <p>南浦和・セキハタ歯科医院</p> <p>21期I 関端 徹</p> <p>〒336 浦和市南浦和2-7-17 Tel (医院) 0488-86-1818 (自) 0488-87-1758</p> | <p>松栄(靴下・婦人下着小売)</p> <p>18期G 松井 好彦</p> <p>〒111 台東区浅草橋1-21-1・松栄 Tel (会社) 866-9711 (自宅) 0473-36-2395</p> | <p>HASEGAWA CO., LTD</p> <p>代表取締役</p> <p>5期C 長谷川(大郷)節子</p> <p>〒114 北区栄町42-2-103 TEL 445-8905</p> |
| <p>26期I組(1974年3月卒)</p> <p>小垣 雅俊 佐藤 克就 竹中 朗 橋本 忠人</p> | <p>弁護士</p> <p>18期H 宮本 智</p> <p>〒100 千代田区有楽町1-6-8 松井ビル6階 旬報法律事務所 TEL(事務所) 580-5311 (自宅) 926-5354</p> | <p>弁護士</p> <p>7期D 大辻正寛</p> <p>事務所 〒102 千代田区九段北 1-9-14九段ハイム707号 TEL. 239-4099 FAX. 221-9460 自宅 〒274 船橋市三山1-11-15 TEL. 0474-75-9401</p> |
| <p>斉藤商店(精肉・食品卸)</p> <p>29期 斉藤 智夫</p> <p>〒112 文京区白山5-1-15 (会社) TEL 815-5771 (自宅) TEL 815-0029</p> | <p>星野家具店</p> <p>19期E 星野 久男</p> <p>〒173板橋区仲宿40-4 Tel 961-9567</p> | <p>菓業堂薬局(自営)・ (併割烹料亭 磯はな(自営))</p> <p>8期A 鈴木 重光</p> <p>〒252 藤沢市下土棚566 TEL(自宅) 0466-44-2792 (会社) 0466-44-2792</p> |

賛助金は1口1万円です。(名簿付)同窓会までお申込み下さい。

昭和63年度
予 算 案

| | |
|----------------|------------|
| 〔収 入〕 | 8,298,989円 |
| 繰越金 | 2,792,989円 |
| 利息 | 700,000円 |
| 会費(10,500×432) | 4,536,000円 |
| その他賛助金 | 240,000円 |
| 名簿 | 30,000円 |

| | |
|-------|------------|
| 〔支 出〕 | 6,198,700円 |
| 経常費 | 4,198,700円 |

| | |
|-----------------|------------|
| 各部(名簿・会報各5,000) | |
| 事務手当(10,000) | 50,000円 |
| 名簿(600部+バラ50部) | 1,475,700円 |
| 会報(13,000部 @36) | 468,000円 |
| 〃送料(70×11,500) | 805,000円 |
| 〃宛名書き | 120,000円 |
| 〃発送費 | 100,000円 |
| 学校案内(80×2,000) | 160,000円 |
| 後援費(母校・卒業生) | 150,000円 |
| 通信・交通費 | 150,000円 |
| 運営費 | 250,000円 |
| 表彰費 | 220,000円 |
| 慶弔費 | 50,000円 |
| 子備費 | 200,000円 |

| | |
|----------|------------|
| 基本財産 | 1,500,000円 |
| 会館建設基金 | 100,000円 |
| 50周年建設基金 | 400,000円 |

| | |
|-------|------------|
| 〔繰越金〕 | 2,100,289円 |
|-------|------------|

住所 豊島区西巣鴨1-1-5
〒一七〇 九一〇-八二三
郵便振替番号 東京 0...62011
印刷 シミズ印刷 八二一-一六三五

編集 横堀 幸男
西岡 弘

昭和63年12月10日刊

都立文京高等学校同窓会会報
紫 筍 第31号

昭和62年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和62.5.27~63.6.9の間の会計は次の通りになります。

昭和63年6月9日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上、正確であることを認証します。
昭和63年6月16日 会計監査 横沢 靖夫
〃 野中 滋

| | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 財産目録(63.6.9) | |
| イ. 基本財産 | 19,000,000円 |
| ロ. 現金 | 2,792,989円 |
| ハ. 物 品 | |
| ①両開き書庫4 ②書類入れ1 | |
| ③金庫2 ④手提金庫1 ⑤机2 | |
| ⑥いす1 ⑦ファイル1 ⑧ストーブ1 ⑨カメラ3 ⑩三脚1 | |
| ニ. 郵便口座 | 0円 |
| ホ. 奨学基金 | 3,725,294円 |
| ヘ. 会館建設基金 | 2,257,211円 |
| ト. 50周年基金(利息の元本繰入れ 24万円を含む) | 2,240,000円 |

| | |
|---------------------|------------|
| 2. 現 金 | |
| イ. 収 入 | 9,293,925円 |
| 繰越し | 3,285,749円 |
| 会費(62年度卒10,000×432) | 4,320,000円 |
| 賛助金 | 40,000円 |
| 名簿 | 12,000円 |
| 郵便振替 | 893,500円 |
| 利息 | 684,646円 |
| 寄 付 | 58,030円 |
| ロ. 支 出 | 6,500,936円 |

| | |
|----------------|------------|
| 経常費 | |
| 各部・事務手当 | 50,000円 |
| 名簿(600部+バラ) | 1,475,700円 |
| 会報(36×13,000) | 468,000円 |
| 〃送料(70×11,389) | 717,930円 |
| 〃宛名書き・発送 | 220,000円 |
| 学校案内(76×2,000) | 152,000円 |
| 後援費 | 80,000円 |
| 通信・交通費 | 105,520円 |
| 運営費 | 240,951円 |
| 表彰 22名 | 220,000円 |
| アンケート用紙 | 48,000円 |
| 校舍改築 | 180,585円 |
| 慶弔費 | 10,000円 |
| 基本財産 | 1,500,000円 |
| 奨学基金 | 452,250円 |
| 会館建設基金 | 100,000円 |
| 50周年基金 | 400,000円 |
| ハ. 繰越し | 2,792,989円 |